

2001 人権フェスティバル開催

愛媛県では、11月11日から12月10日までを「差別をなくする強調月間」としています。

この期間中、松前町では、同和問題をはじめとするあらゆる差別をなくすことを願い、毎年、人権フェスティバルを開催しています。今年は12月9日（日）に開催し、広田村在住の「人形芝居ぶか」により「親の愛・親子の絆・子の思い」が込められた「ささゆりの咲く村」という劇を演じていただきました。

21世紀は、人権の世紀と言われ、お互いの人権を思いやることが大切です。

現代社会に生きる私たちは、社会にあるさまざまな人権問題解決のために何ができるのか、何をしたらいいのか、自分に問いなおしてみるよい機会となりました。



NHKサッカーパークinまさき開催

◀木村和司さん
▼長谷川健太さん

11月23日（祝）、松前公園で小学生約100名が参加して、「NHKサッカーパークinまさき」が開催されました。

午前の部では、PK大会・リフティング大会が行われました。リフティング大会では、飛び入り参加した女の子が優勝しました。また、PK大会では、多数のチームが参加して、熱戦が繰り広げられました。

午後からは、元Jリーガーの木村和司さん、長谷川健太さんを講師に、楽しく、ふれあいのあるサッカー教室を行いました。



おさかなさ～ん!いらっしゃ～い!

小富士保育所におさかなママさんキャラバン隊



▲カニを手にニッコリ

11月29日（木）、小富士保育所におさかなママさんキャラバン隊（愛媛県魚食普及推進協議会）がやってきました。これは、人形劇や実物の魚に触れることを通して、幼年期から魚に対する親しみを持ってもらおうというものです。

人形劇では、魚の栄養や生態はもちろん、環境問題もまじえながら話が進みました。舞台ではイカやカニ、タイやサバたちが舞い踊り、60名の園児たちはおおはしゃぎでした。

園庭に出て、実際の魚に触る体験では、子どもたちは普段、あまり触れる機会のない生の魚の感触に、新鮮な感動を覚えているようでした。中でも、タコは大人気で、足の吸盤に触れてみては、歓声を上げていました。

子どもたちにとって、たのしく貴重な体験となりました。

